



2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

2021年8月2日
株式会社ティーガイア

免責事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。

実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

目次

I 2022年3月期 1Q 連結決算概要

全社	P.4
モバイル事業	P.8
ソリューション事業	P.14
決済サービス事業他	P.18

II 参考資料 P.23

2022年3月期 1Q 連結決算概要

2022年3月期 1Q 連結決算概要



(単位：億円)	21/3期 1Q	22/3期 1Q	前年同期比
売上高 <small><旧TFM分除く前年同期比※1></small>	762.9※3	1,111.7	145.7% <127.9%>
売上総利益 (売上総利益率)	140.1 (18.4%)	185.8 (16.7%)	132.5% (-1.7p)
販管費	117.2	153.8	131.2%
営業利益 (営業利益率)	22.9 (3.0%)	31.9 (2.9%)	139.2% (-0.1p)
営業外損益 (カード退蔵益他)	27.3	16.7	61.2%
経常利益	50.3	48.7	96.8%
純利益※2	33.9	32.2	94.9%
販売台数 (万台) <small><旧TFM分除く前年同期比※1></small>	58.6	102.9	175.4% <151.9%>

22/3期 通期計画	達成率
4,530.0	24.5%
763.0 (16.8%)	24.4%
629.0	24.5%
134.0 (3.0%)	23.9%
50.0	33.5%
184.0	26.5%
120.0	26.9%

※1.TFM：株式会社TFモバイルソリューションズ
 ※2.純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益
 ※3.会計基準の見直しを遡求適用しております

売上、利益ともに順調

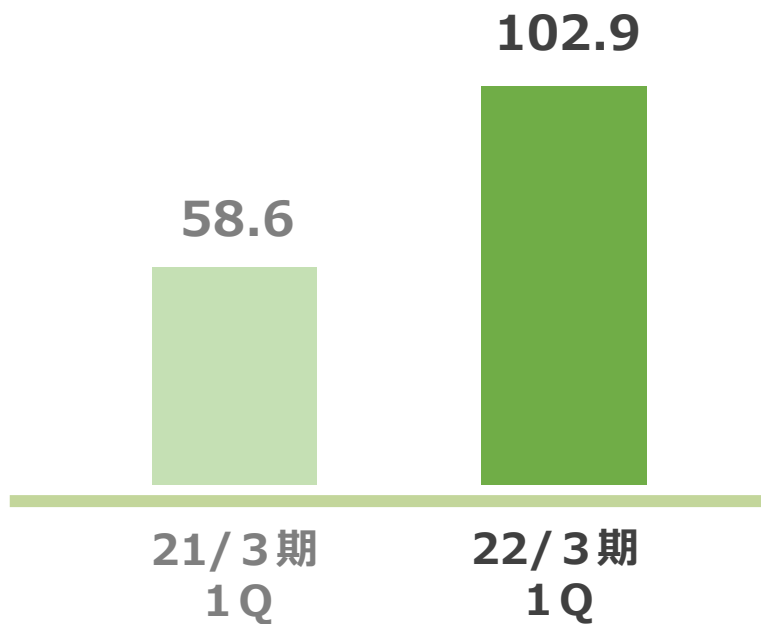
前年同期比で営業利益は大幅増（139%）。退蔵益大幅減（▲11億円）は想定どおり。

全社販売台数



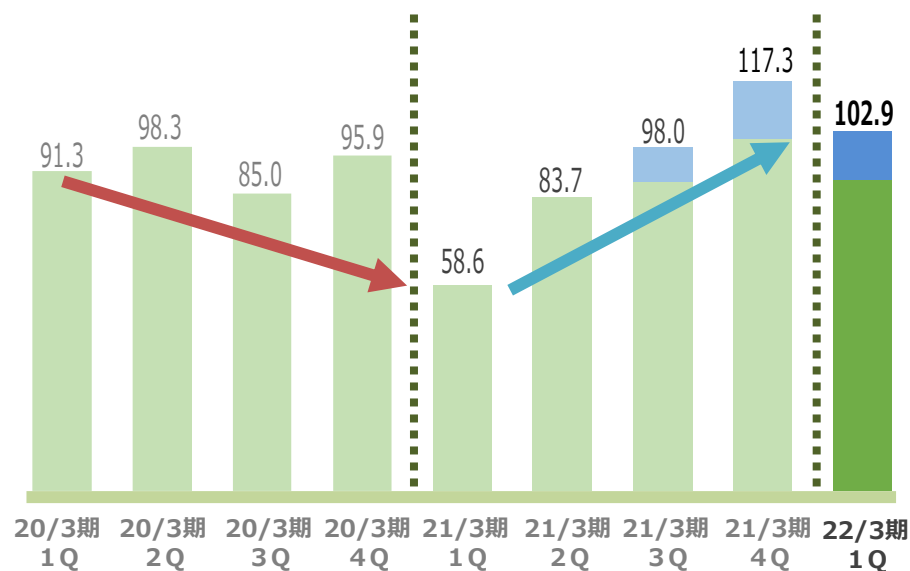
携帯電話等販売台数

■ 販売台数 ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む
(万台)



携帯電話等販売台数 推移

■ 販売台数 ■ 販売台数 (TFM^{※1}2020年11月～)
(万台) ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む



前年同期比で販売台数は大幅増、コロナ禍以前の水準に回復

※1：株式会社TFモバイルソリューションズ 2021年2月に吸収合併

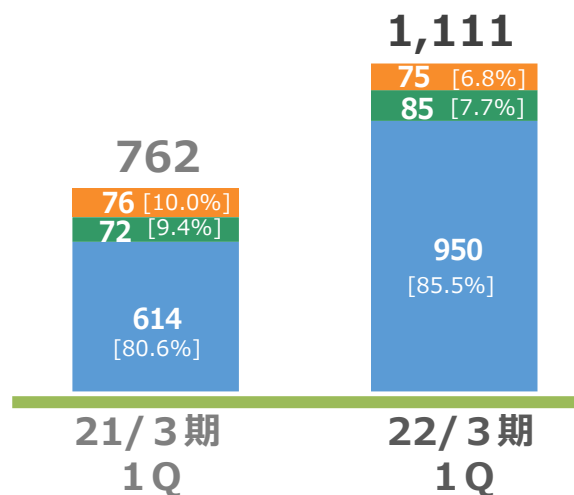
連結売上高・営業利益・純利益



■ モバイル事業 ■ ソリューション事業 ■ 決済サービス事業他 ※ [] 内の数値はセグメント別構成比

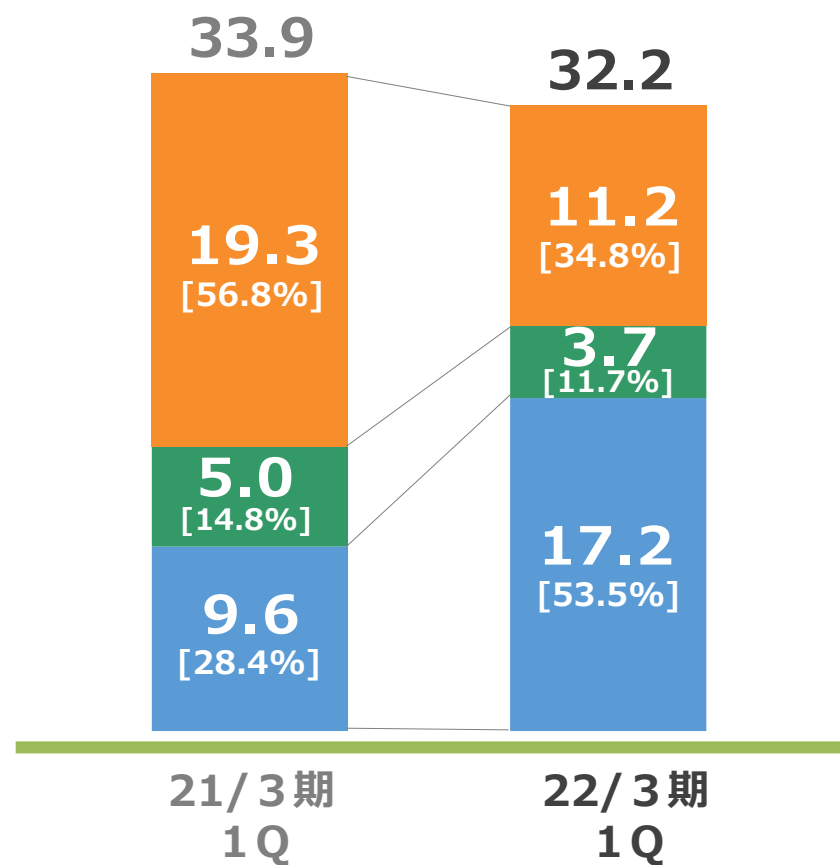
売上高

(億円)



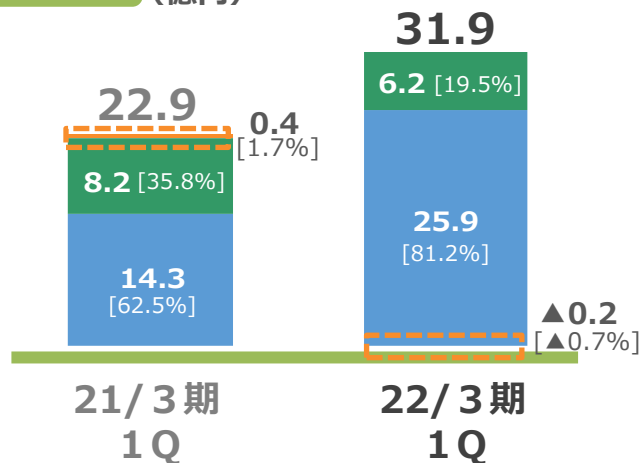
純利益

(億円)



営業利益

(億円)



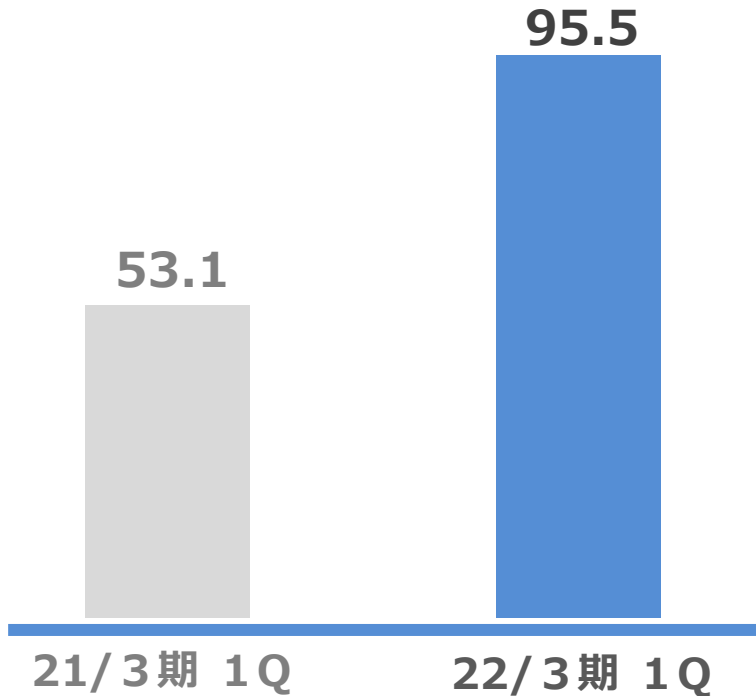
モバイル事業

モバイル事業 セグメント業績



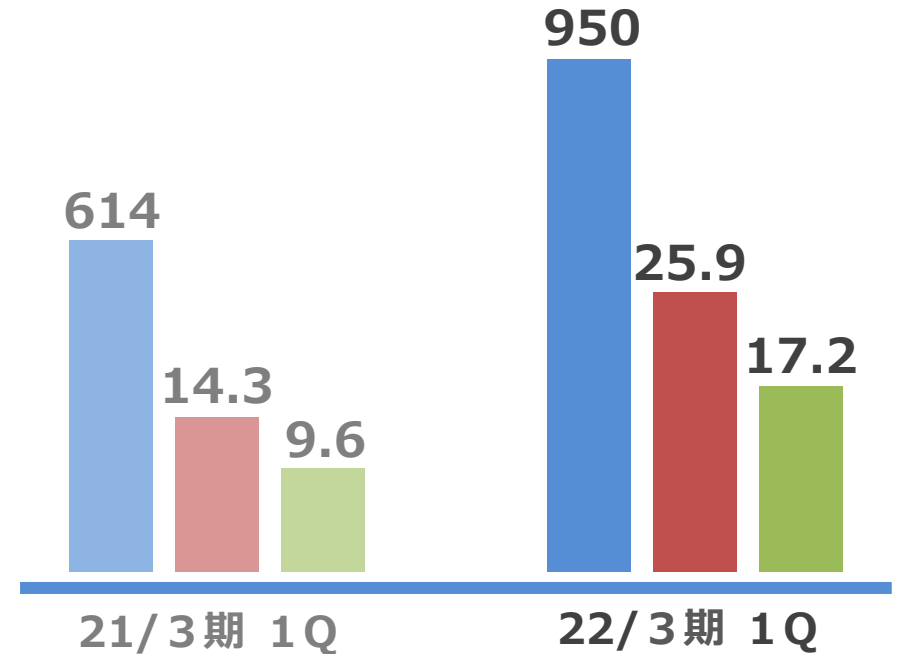
携帯電話等販売台数

(万台) ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む



売上高・営業利益・純利益

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 純利益
(億円)

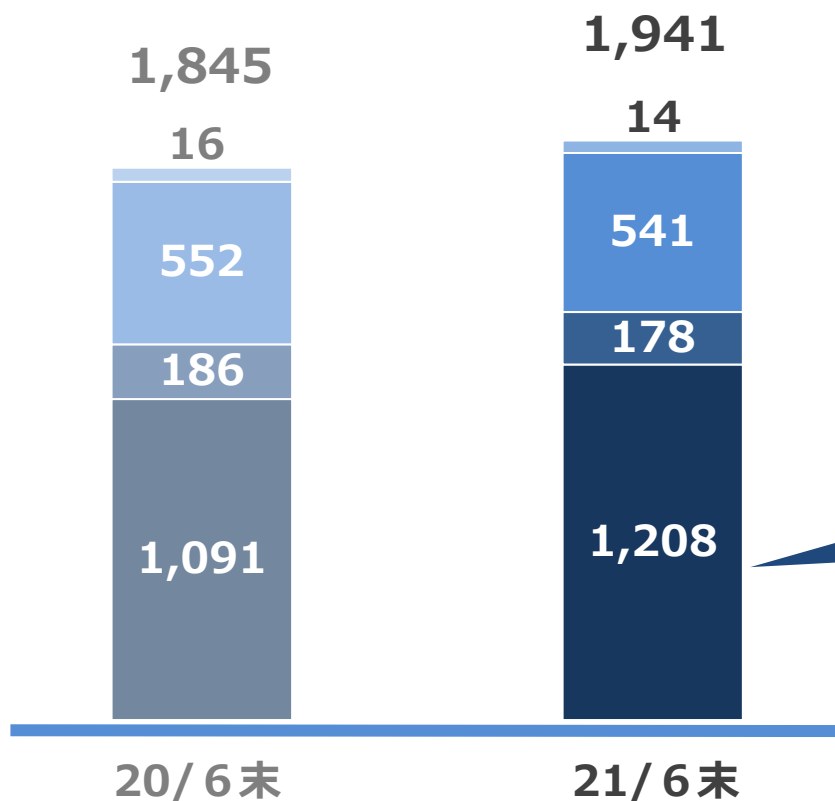


3度目の緊急事態宣言 (2021年4月発令) の影響は軽微
旧TFM^{※1}の店舗も貢献し増収増益

販売拠点数推移



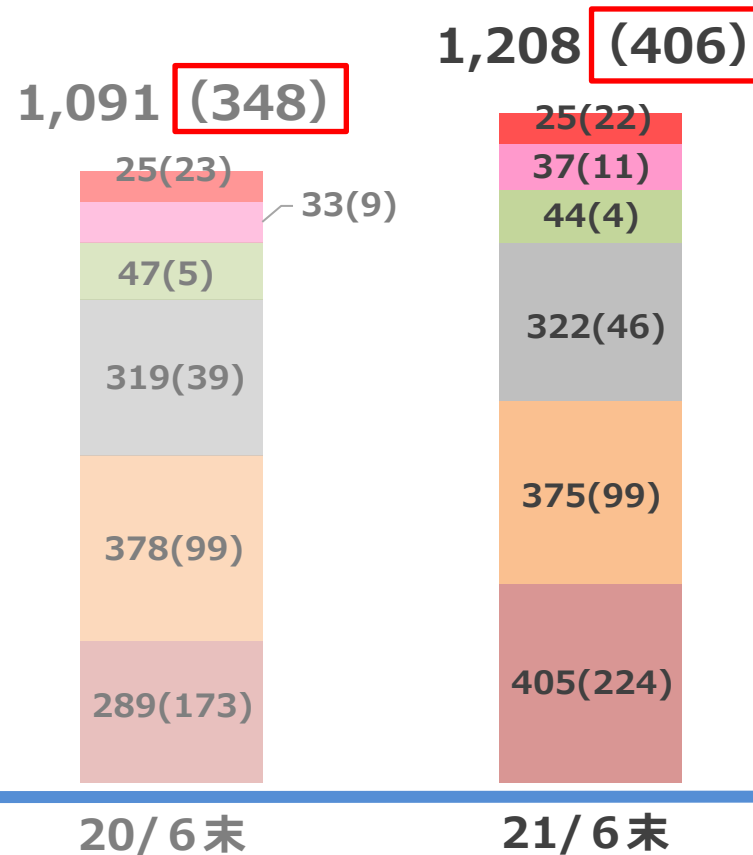
■ キャリアショップ ■ 併売店等 ■ 量販店
■ アクセサリーショップ



キャリアショップ数推移

※()内は直営店数

■ ドコモ ■ au ■ SB ■ YM ■ UQ ■ 楽天



2020年11月 TFM^{※1}子会社化により店舗数増加

モバイル事業 トピックス



移動携帯ショップ



携帯電話販売代理店初^{*}のマイクロバス移動携帯ショップ（※当社調べ）

➡出張販売・サービスを強化し、お客様との接点拡大を図る

モバイル事業 トピックス



移動携帯ショップ



トヨタ コースターを改装
木目調のシンプルな内装



換気ファンを2台設置、
抗ウイルス・抗菌コーティングを実施
→ 万全な感染症対策



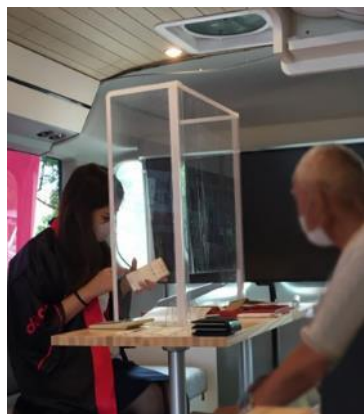
太陽光パネル、蓄電池装備
→ 環境・災害にも対応

快適性だけでなく、環境・災害・感染症にも配慮

モバイル事業 トピックス



移動携帯ショップによる出張販売・相談会



2021年7月21日
綾町産業観光案内所
(宮崎県)

店舗投資



2021年6月25日 オープン
d garden 東久留米店
カフェを併設

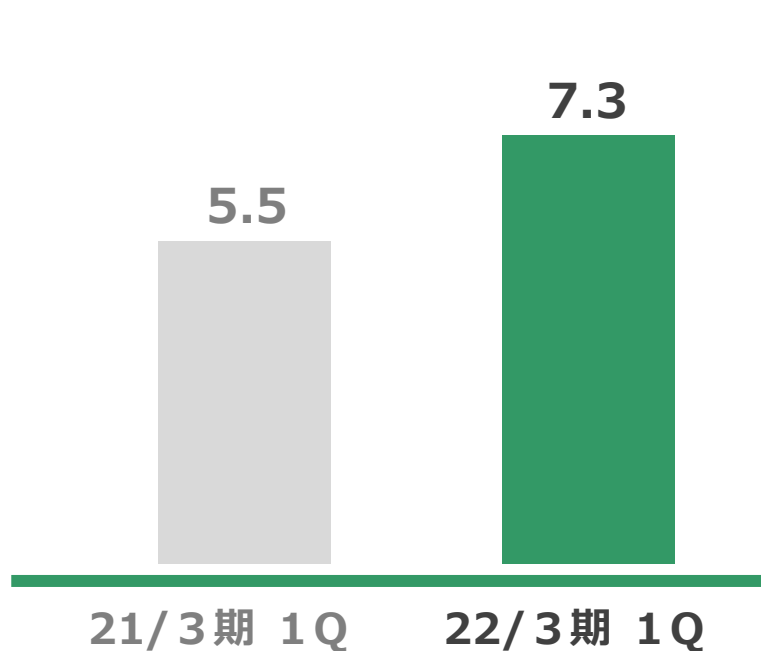
ソリューション事業

ソリューション事業 セグメント業績



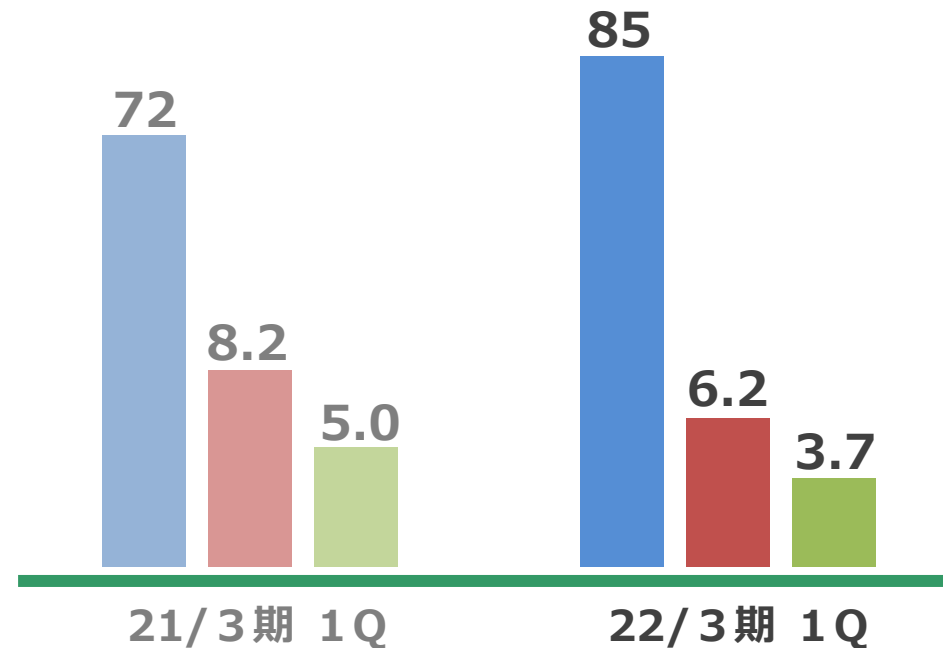
携帯電話等販売台数

(万台) ※ Wi-Fi 専用端末、MVNO含む



売上高・営業利益・四半期純利益

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 四半期純利益
(億円)



人員増・システム投資により減益も、概ね計画どおり
販売台数は堅調に推移

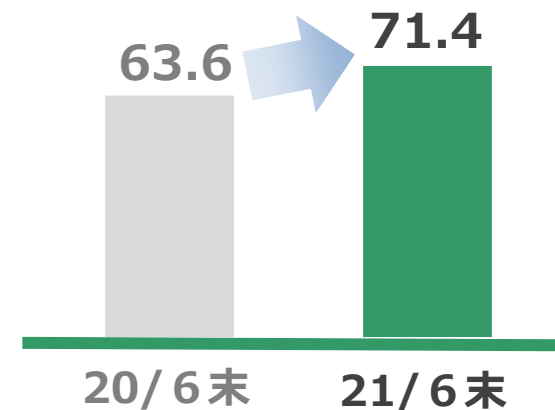
非キャリア商材実績



※非キャリア商材…movinostar、キッティング、ヘルプデスク、TG光など、通信キャリア以外から仕入・提供している商材

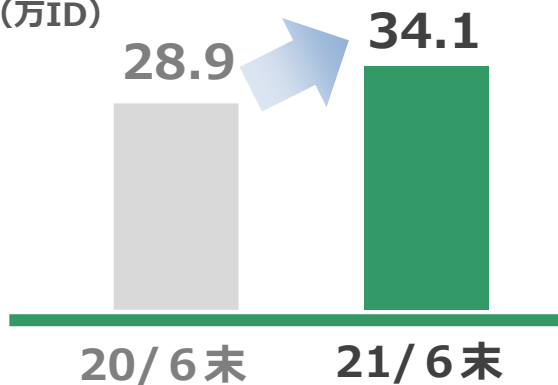
movino star ID数

(万ID) ※ movino star…法人向け通信回線一括管理サービス



ヘルプデスク ID数

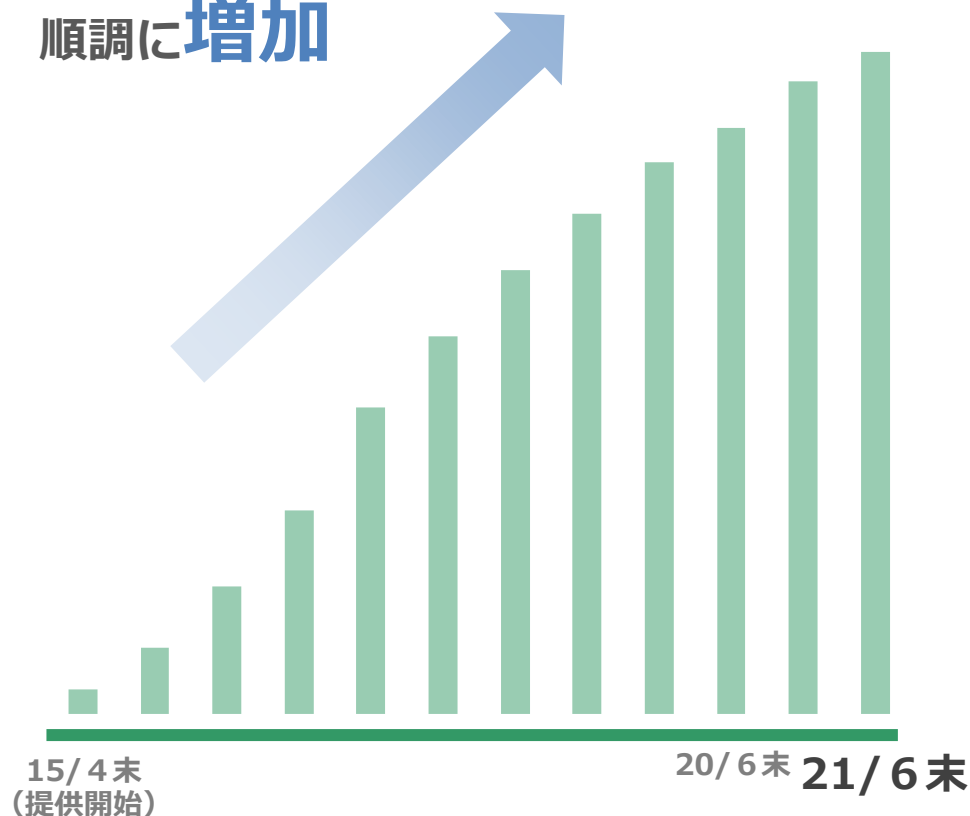
(万ID)



TG光 累計回線数（再卸含む）



順調に増加

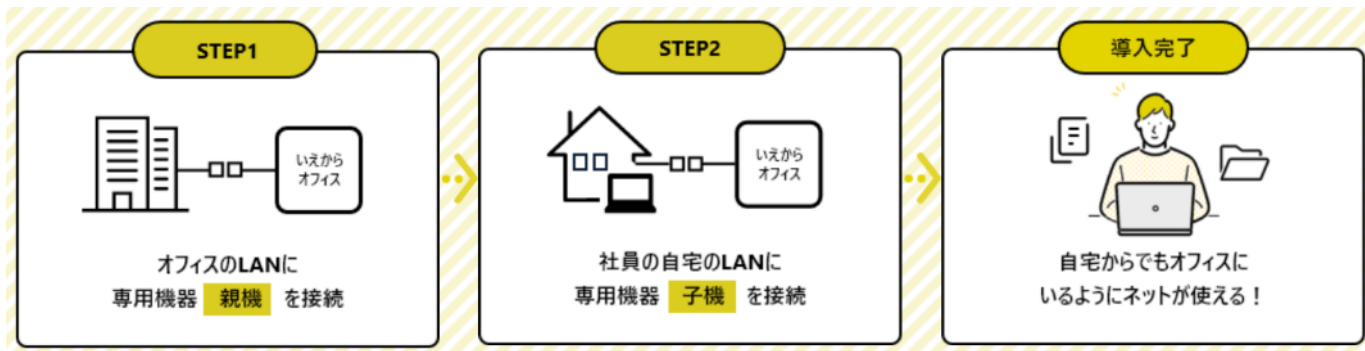


ID数増加により、継続的な収入が増加

ソリューション事業 トピックス



いえからオフィス



テレワークには？

いえからオフィス **検索**

つなぐ
だけ

驚きの
低コスト

安心の
セキュリティ



オフィスと社員の自宅に
専用機器（Relay2）を
つなぐだけで、
オフィスと同じ
ネットワーク環境を構築

6/7～20
タクシー広告（都内）
6/21～7/4
TVCM（一部地域）
➡WEBサイトアクセス増



**認知度
向上に
貢献**

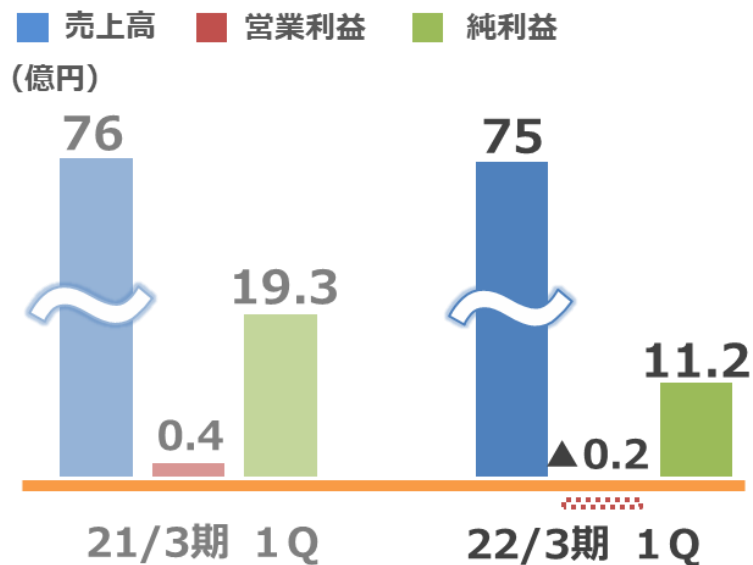
認知度向上により、さらなる拡販を図る

決済サービス事業他

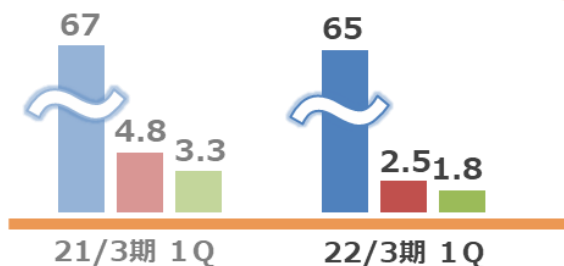
決済サービス事業他 セグメント業績



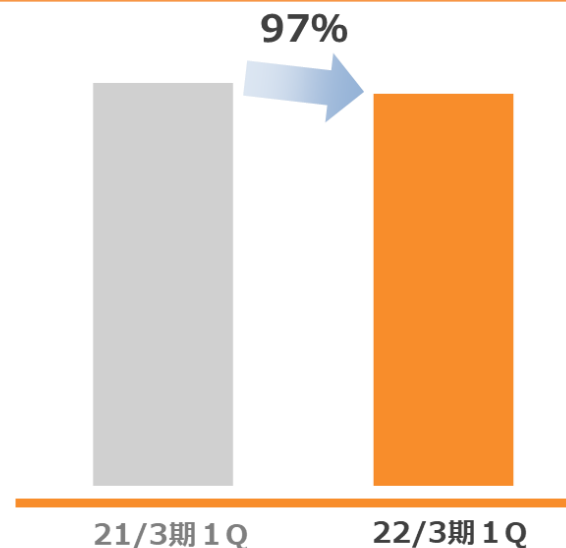
売上高・営業利益・純利益



<参考>
決済サービス
事業単体
(子会社配当金
を除く)



PIN・ギフトカード取扱高



前期1Qは全国規模の
外出自粛に伴う特需が大きく、
前年同期を下回る

ゲームや音楽・動画配信等の需要は
引き続き高い水準

アクセサリ卸売り販売にて一過性の費用等を計上
減収減益も、連結での利益は計画通り



株式会社JCGとの 資本業務提携



株式会社JCG

eスポーツのオンライン大会
プラットフォームを提供する
日本最大のeスポーツプロバイダ

eスポーツイベント等
様々なビジネスモデルの
構築などに取り組む

女性eスポーツチーム 共同運営

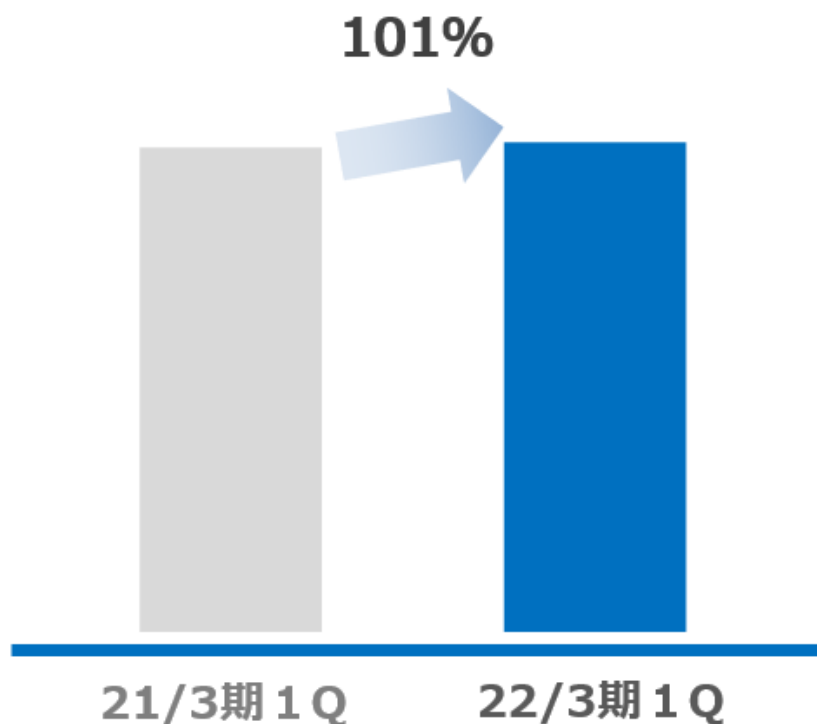


ヒューマンアカデミーと
女性eスポーツチーム
の共同運営開始



QUOカード発行高

※ QUOカードPayを含む



発行高は引き続き堅調



取り組み

● 新規加盟企業（一部抜粋）



引き続き加盟店拡大に取り組む

● キャンペーン



ふるさとプレミアム※



ドトールコーヒー※

多彩なキャンペーン展開により
発行拡大に取り組む

※キャンペーン終了済み



ドコモショップ八街店

当社直営 ドコモショップ 4店舗で CO2排出量削減 実証実験

Tesla製蓄電池を導入
昼間に太陽光発電した電気を
夜間や災害時に使用

●蓄電池導入による効果の見込み



再生可能エネルギーの
自家消費比率

10%  向上



店舗全体での
CO2 排出量

50%  削減

BCP対策、再生可能エネルギー活用の促進により、
持続可能な社会の実現に貢献

參考資料

2022年3月期 全社連結業績予想



(単位：億円)	21/3期 通期 実績	22/3期 通期 計画	前期比	
売上高	4,508.6	4,530.0	+21.4 ^{※1}	+0.5% ^{※1}
売上総利益	699.3	763.0	+63.7	+9.1%
販管費	558.8	629.0	+70.2	+12.6%
営業利益	140.5	134.0	▲6.5	▲4.6%
営業外損益 (カード退蔵益他)	57.5	50.0	▲7.5	▲13.1%
経常利益	198.0	184.0	▲14.0	▲7.1%
純利益	130.4	120.0	▲10.4	▲8.0%

※1. 会計基準変更を21/3期実績へ遡及適用した場合の前期比：+299億円、+7.1%

**TFM統合効果の通年化もあり増収も、
退蔵益減、システム投資等により減益**

2022年3月期 全社連結業績予想（補足）



1. 退職益

①

新規認識

各四半期末に発行後5年目を迎える未使用見込額

②

過年度認識の見直し額

前期末までに発行後5年目を迎えた未使用見込額に係る見直し額

【2021年3月期】

【2022年3月期】

1Q	①：ほぼ 変動なし	1Q
2Q		2Q
3Q		3Q
4Q		4Q
±		±
1Q		1Q

②：約12億円減少
約15億円→約3億円

2. システム投資を中心とする全社施策

基幹システムへの投資などによる費用増：約7億円

営業、会計、社内インフラを
刷新

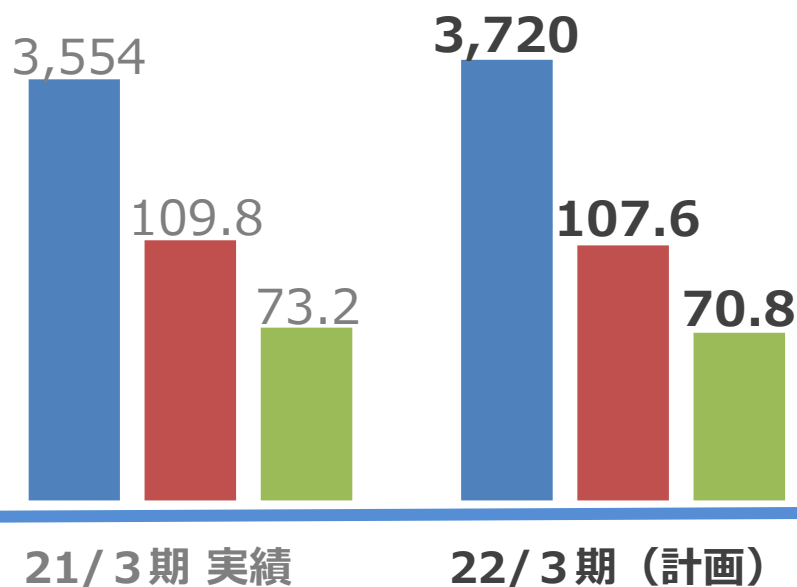


- 業務効率化
- 分析高度化



モバイル事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 純利益
(億円)



■ 事業環境 引き続き大きく変化

19年10月：改正電気通信事業法（改正法）施行

20年3～5月：新型コロナの影響による

営業時間短縮・店舗休業

3月：5G商用サービス提供開始

4月：楽天モバイルMNO本格参入

21年3月：オンライン専用プラン提供開始

(ahamo、povo、LINEMO)

22年3月：KDDI 3G回線提供終了

■ 当社戦略

ショップの「存在価値」を高める

- お客様対応方法の変化（改正法施行、新型コロナ対策等）に対応。「価値提案」を強化

お客様満足度の向上

お客様との継続的な関係の強化

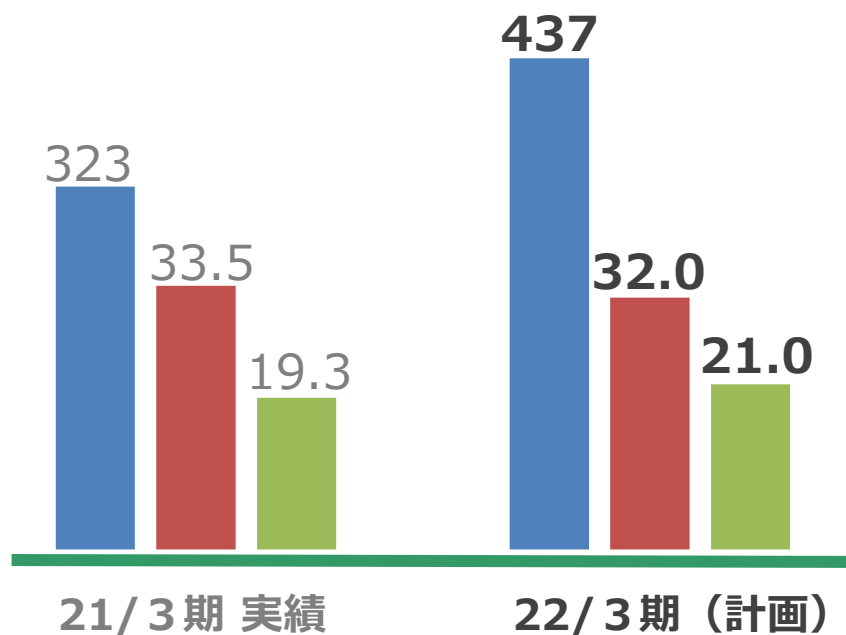
- 積極的な教育投資を実施→対応品質の向上
- 販売台数に応じた、さらなる生産性の向上
- 引き続き戦略的な店舗投資を実施
- 店舗での取り扱い商材の拡充
- 出張販売への取り組み強化→販売機会の創出

ソリューション事業 業績予想



ソリューション事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 純利益
(億円)



■ 事業環境

- 企業のICT高度化、働き方改革を背景としたスマートデバイス導入企業の増加
- 新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワーク導入企業の増加
- 新しい技術の拡がり（5G、AI、IoTなど）

■ 当社戦略

モバイル版LCM[※]サービスの拡充

+

新事業領域の拡充（エッジコンピューティングなど）



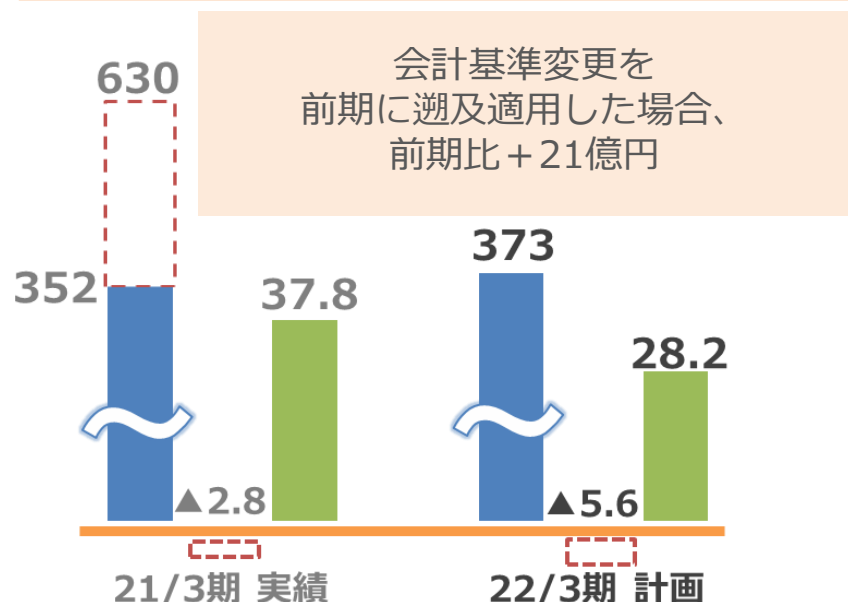
モバイルだけでなく
ネットワーク・インフラ構築も含めた
ICT運用管理に係るトータルサポートの提供

- 顧客接点の強化と拡大
- 「movino star」他、非キャリア商材推進
- 事業会社・出資先との連携強化
- 「T G光」ビジネスの更なる拡大
- 営業基幹システム投資強化

決済サービス事業他 業績予想

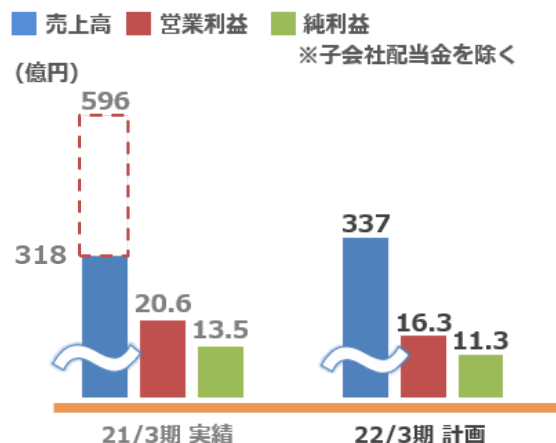


決済サービス事業他 業績予想



【参考情報】
決済サービス事業他
(当社単体)

※ 子会社配当金を除く。



■ 事業環境

- ゲームを中心とした各種オンラインサービスなどの需要が高く、ギフトカード、PIN販売が好調
- 在宅勤務関連の商材（USBケーブル、イヤホンマイク等）需要高まる
- 5G商用サービススタートでeスポーツに注目
- 企業のESG対応が進む

■ 当社戦略

決済サービス事業

- PIN・ギフトカードの取扱高増加を図る
- コロナ禍での非ゲーム分野（デリバリー・動画など）の伸びに対応し、新商材投入を図る
- 当社のデジタルコード配信サーバの活用し、クオカード社と共同して法人向け販売を強化
- 「QUOカードPay」の加盟店拡大、発行拡大に引き続き取り組む

海外事業

- 新型コロナの影響による制限があるなか、シンガポールを中心とした、東南アジアでのビジネスを維持。ベトナムへの進出引き続き準備中

その他事業

- eスポーツ、ICT教室、再生可能エネルギー電力事業など新ビジネスの確立

株主還元策



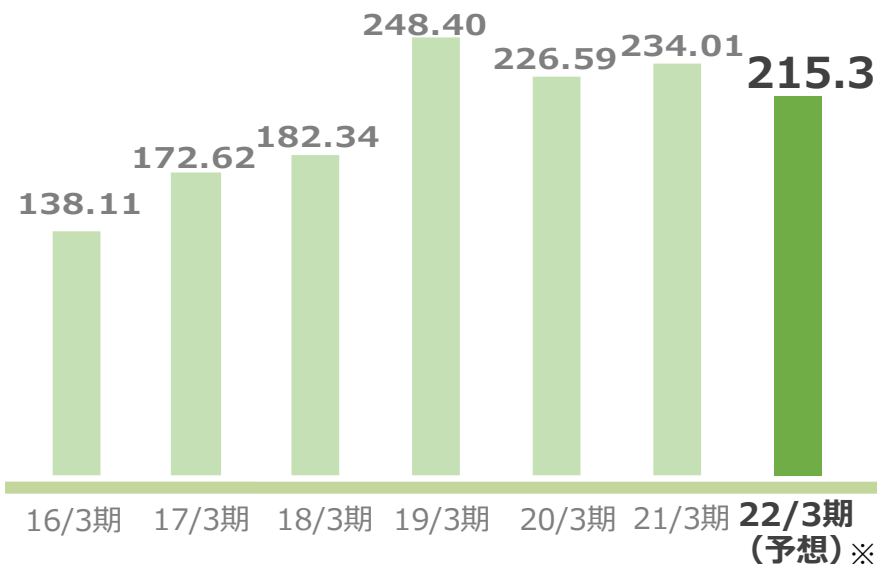
22/3期 配当予想

- 年間配当金：**75円**/株（中間配当金：37.5円/株、期末配当金：37.5円/株）

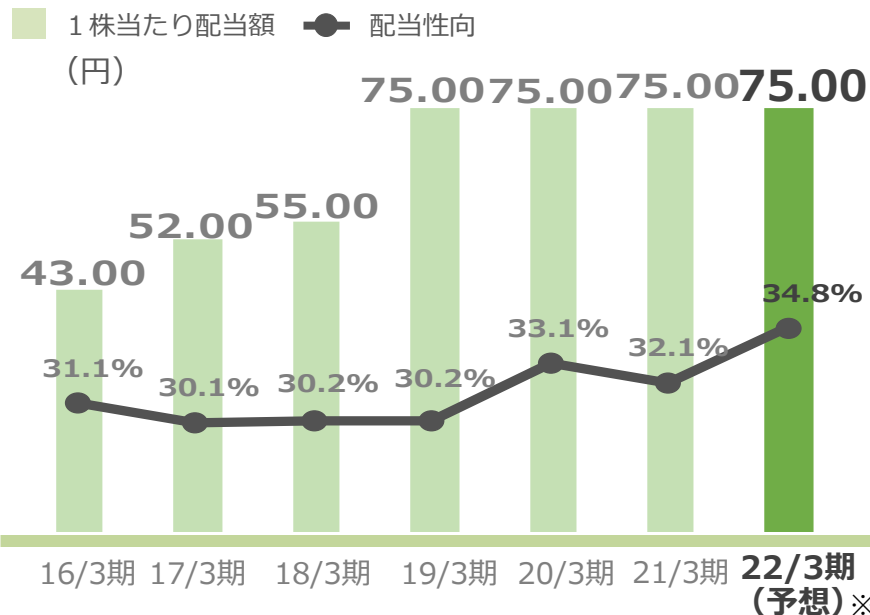
配当の基本方針

配当性向30%以上を目処として利益還元を実施

- 1株当たり当期純利益
(円)



- 1株当たり配当額と配当性向



※22/3期（予想）の1株当たり当期純利益および配当性向は、22/3期末における期中平均株式数（予想）に基づき算出

主要財務指標の推移



通期（単位：％）	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
自己資本比率	41.7%	39.0%	22.8%	26.1%	30.4%	27.4%
自己資本当期純利益率 (ROE)	29.3%	29.7%	30.9%	33.3%	24.8%	21.9%
投下資本利益率 (ROIC)	17.3%	17.6%	20.3%	22.0%	17.9 %	13.8 % ^{※1}
売上高営業利益率	2.5%	2.6%	2.6%	2.9%	2.9%	3.1% ^{※2}
純資産配当率 (DOE)	9.1%	9.9%	9.3%	10.0%	8.2%	7.0%

※1 21/3期は、新型コロナの影響に備えた資金の確保と大型M&Aのための長期借入により、負債増。

※2 22/3期から適用となる会計基準の変更を21/3期に遡求適用しております。



TGビジョン ～わたしたちの目指す姿～

- 新たなコミュニケーションの提案を通じ、お客様に感動・喜び・安心を提供します。

TGミッション ～わたしたちの使命～

- 社員とその家族を大切にし、働く喜びを実感できる企業であり続けます。
- ビジネスパートナー・地域社会・株主と強い信頼関係を築き、ともに発展し続けます。
- リーディングカンパニーとして、変化を先取りし、新たなビジネスに挑戦し続けます。

TGアクション ～わたしたちの行動指針～

- 「ありがとう」を超えるサービスを追求します。
- 情熱とスピード感を持ち、積極果敢に挑戦します。
- コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場をつくれます。
- 多様性を尊重し、最高のチームワークを実現します。
- プロフェッショナルとして日々の自己研鑽に努めます。
- いかなるときも高い倫理観に基づき誠実に行動し、コンプライアンスを徹底します。



未来を拓く、明日への飛躍

中期経営計画

(2022年3月期～2024年3月期)

Medium-Term Management Plan

豊かな未来のために
価値を創造し続ける
企業グループへ

～社会に必要とされ、社会に貢献する会社～

人と技術をコアに
事業を通じて社会的課題を解決することで
企業価値を向上する

TG Universe (ティーガイア内エコシステム)の実現

Edge Enablerとして 更なる躍進

他社とのパートナーシップにより、
バリューを最大化

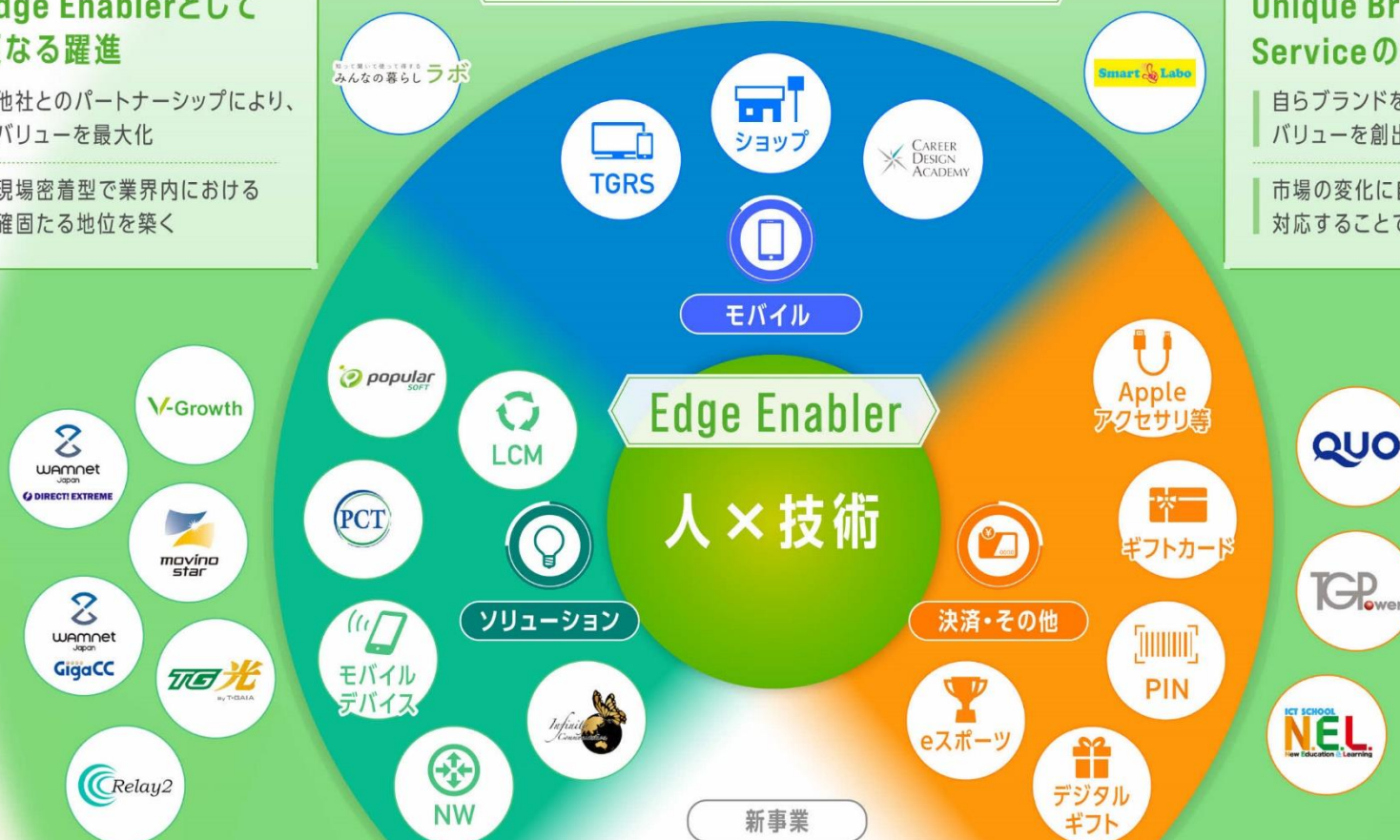
現場密着型で業界内における
確固たる地位を築く

Unique Branded Service Provider

Unique Branded Serviceの創出

自らブランドを保有し
バリューを創出

市場の変化に自ら
対応することで経営安定化



エコシステム インデックス

01

強みを活用

02

プラス連鎖

03

変化を先取り

04

ESG

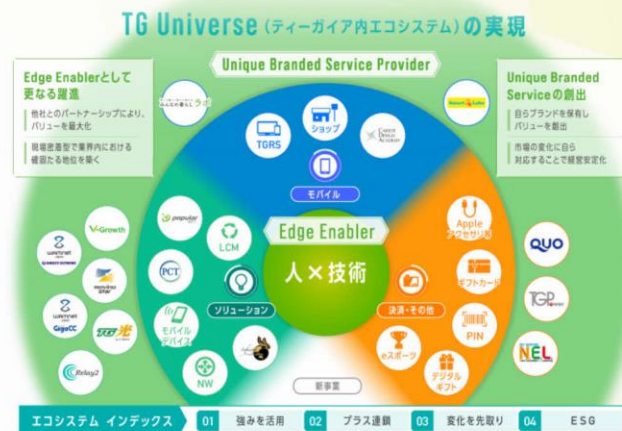
TG Universeの解説



当社のビジネスは、源流をさかのぼると、新電電の長距離・国際回線を法人のお客様にご紹介するところから始まりました。そこから、携帯の法人販売、携帯ショップ運営、コンビニエンスストア向けPIN・ギフトカードビジネス、携帯アクセサリーの販売、スマホを軸とした企業向けモバイルソリューションと、中軸ビジネスは変遷しながら拡大して参りました。共通するのは、「当社名を前面に出さず、法人間や法人と消費者間の境界（エッジ）で、そのギャップを黒子として埋めるビジネス」であることです。

これを「Edge Enabler」ビジネスと呼び、これからも戦略の中核に据えます。全社連携や知見、経験の共有化を進め、既存のEdgeに磨きをかけると同時に、時代が求める新たなEnablerビジネスに積極的に取り組みます。

一方、特にここ数年、Edge Enablerビジネスを足掛かりに、独自のサービス展開に力を入れて参りました。QUOカードやWAMNETといった確立されたブランドや、TG光、TGパワーなど発展途上のものもあります。これらを「Unique Branded Service Provider」ビジネスと呼びます。Enablerビジネスとは異なり、当社が主導権を持つビジネスです。柔軟性を高めるためにも、ここを当社グループの成長ドライバーとします。



全体の球は、大きなティーガイア内エコシステム。限りなく拡大するという思いを込めて「TG Universe」と名付けました。Edge Enabler、Unique Branded Service Provider、いずれのビジネスにおいても、期待利益額や資本効率という定量基準に加えて、4つの「エコシステム インデックス」評価で、取り組みの可否を判断します。

「強み、すなわち当社の知見、経験、各種資産を生かせるか」、「グループ内でプラス連鎖が呼べるか」に加え、よりアップサイドが期待できる「変化する分野」か、「ESGに貢献するか」。

TG Universeの中心にあるのは、「人x技術」。当社は設立以来、社員を大切にすることを宣言し続けています。今後も人が一番の中心は変わりませんが、そこに「x技術」を加えました。今やICT技術はプラスアルファではなく、人を生かすための必要条件。特に、差別化できるICT技術は手の内化を目指します。

当社はTG Universeを充実させ、拡大させることで、価値を創造し続け、豊かな未来の実現に寄与します。

01

多様性の尊重と 人財育成の推進

多様性が生む創造力

多様な価値観に応える人事制度

プロフェッショナル人財の育成



02

ICTの 徹底活用

ICTの手の内化

業務改革による生産性の向上

お客様の豊かな暮らしの実現



03

Enabler パワーアップ

エコシステムの強化

変化を先取りした機能の提供

携帯ショップの更なる高度化



04

新事業に挑戦する 企業文化の醸成

挑戦を生み出す組織・制度の構築

成長ドメインへの積極的な投資

ユニークなブランドの創出



05

顧客・取引先との 協働による 持続的な発展

お客様満足度の向上

取引先との更なる関係深化

課題の傾聴と適切な提案



06

地域社会の一員として 共通価値を創造

ビジネスを通じた地域社会との共生

ICT教育によるデジタルデバйд解消

地域社会での重要なアクセスポイント機能



07

環境問題・気候変動への 積極的な取り組み

地球の環境負荷低減に貢献

再生可能エネルギー事業の推進

当社ネットワークを活用した災害時の支援



08

コーポレート ガバナンスの高度化

コンプライアンスの順守徹底

グループガバナンスの強化

情報開示の充実



携帯販売代理店として質・量ともにNo.1を堅持 携帯ショップの存在価値を高める

信頼される
携帯ショップ

いつでも
相談できる
安心ショップ

質の高い
全国販売
ネットワーク



通信事業者と
協業を拡充

人財育成と
活躍の場を
提供

地域創生や
地域活性化に
貢献

Excellent shops

質の高いサービスとご要望に沿った利用価値提案により
お客様に喜ばれ・信頼されるショップであり続ける

High quality staff

ショップスタッフの応対力と専門性を高め
良質な全国販売ネットワークを構築する

Life enrichment

お客様の暮らしを豊かにするサービスを創出するために
通信事業者との協業を拡充する

Regional revitalization

いつでも相談できるICT拠点として地域に寄り添い
地域創生や地域活性化に貢献する

LCMサービスの**拡充** 総合ネットワークサービスプロバイダへの**進化**



Solution consulting

ソリューションのプロフェッショナルとして
仮説提案営業を徹底し
顧客のニーズを捉える営業スタイルへ

Total support

クライアントの要望に応えるため、
調達・導入支援・環境構築・
運用保守・リプレイスまで
ワンストップで支援する

Social contributions

企業を取り巻く
ICT環境の変化に対応した
サービスの提供により社会に貢献する

LCMサービス=ICT運用管理に係るライフサイクルマネジメントサービス

デジタルギフトの世界を広げる お客様の快適なスマートライフを実現



デジタルギフト
配信サービスの
拡大

Digital gift

個人間／企業のギフト販促需要に応える
デジタルギフト配信サービスの拡大



様々なサービスの
取り扱いと
提供



主要
リテールへの
価値提供

Value enhancement

PIN／ギフトカード／QRコード決済の
取扱商材拡充により
主要リテールへの提供価値を向上する



QUO Card promotion

QUOカードとQUOカードPayの
両サービスの強みを融合した
新時代のギフトサービスを展開する



戦略的
パートナーとの
アライアンス

Smart life

様々なデジタルサービスの取り扱いを促進し
全てのお客様に快適なスマートライフを実現する



QUOカードと
QUOカードPayの
デジタル融合



将来の成長分野への挑戦・投資 ESG・SDGsに貢献



教育



eスポーツ



農業



地域活性・
環境取組



再生可能
エネルギー

教育

自由な教育の場の提供により
ICT教育の拡充に貢献する

eスポーツ

eスポーツの推進により
産業振興や地域活性化に貢献する

再生可能 エネルギー

太陽光発電の設置や
EVの活用により
地球温暖化対策に貢献する

農業

スマート農業の実現により
農業の持続的な発展に貢献する

地域活性・ 環境取組

ICT利活用推進により
地域課題解決に貢献する

様々な 成長分野

教育、再生可能エネルギー、
農業、eスポーツに限らず、
様々な成長分野に挑戦・投資する

全社員がワクワクしながら働ける環境づくりの実現 社員とその家族を大切にする会社であり続ける

Employee-friendly

社員一人ひとりの
働きがいと働きやすさの追求

プロフェッショナル人材の育成

副業／FA／社内公募制度

コミュニケーション施策の充実

Diversity & Inclusion

ダイバーシティ&
インクルージョンの実現

女性及びハートフル社員の活躍推進

LGBT対応の推進

健康経営に沿った支援制度の充実

Various work-styles

時間と場所を問わない
多様な働き方

ペーパーレス化等による業務改革

テレワーク環境の更なる充実

柔軟な勤務形態／環境
(スーパーフレックス・フリーアドレスなど)



ガバナンスの高度化

多様化・複雑化する
リスクに対応した
リスクマネジメントの
実効性向上

業務の適正を
確保するための
内部統制の
充実と強化

信頼される会社で
あり続けるための
コンプライアンス
順守と徹底

グループ会社に対する方針

グループ会社の自主性を尊重し
規模・特性・成長ステージなどに応じて
経営管理体制の構築をサポートすることで
TGグループの価値最大化を目指す

Policy for group companies

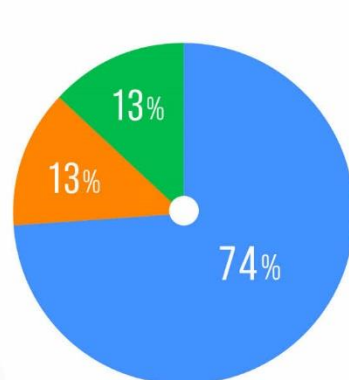
事業ポートフォリオの変革イメージ

モバイル事業に依存した収益構造から
バランスの良い事業ポートフォリオへ

前中期経営計画

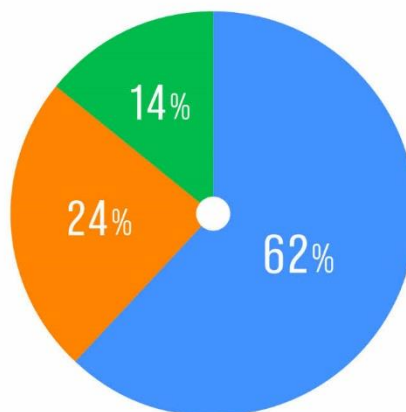
中期経営計画

● モバイル ● 決済・その他 ● ソリューション



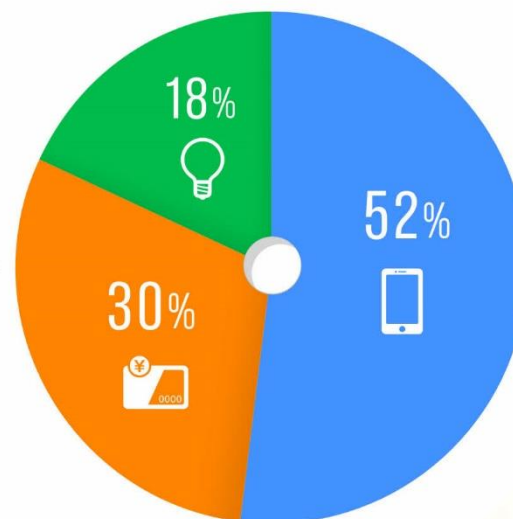
2018年3月期

純利益 101.6 億円



2020年3月期※

純利益 126.2 億円



2024年3月期



※ 2021年3月期は新型コロナウイルスの影響が大きかったため、2020年3月期の収益構造を採用しました。

各事業の成長イメージ

Edge Enabler × Unique Branded Service Provider

